

【アクセラレーションプログラム】FAQ

No.	分野	カテゴリー	内容	回答
1	アクセラレーションプログラム	応募	都外からの参加は可能ですか。	別の道府県で法人を設立済みの場合は、株式会社として東京都への事務所の設立（届出）の予定であれば応募は可能です。なお、事務所とは、事業の必要から設けられた人的及び物的設備であって、そこで継続して事業が行われる場所のことを指します。詳しくは「プログラムの対象者について」内の詳細をご確認ください。
2	アクセラレーションプログラム	応募	株式会社以外の法人格を有しているが、参加は可能ですか。	株式会社への組織変更の予定があれば応募可能です。詳しくは「プログラムの対象者について」内の詳細をご確認ください。
3	アクセラレーションプログラム	応募	インパクトデザインコースとインパクトスケールコースの違いは何ですか。	対象会社と支援内容が異なります。 インパクトデザインコースは、社会課題の構造を深掘りし、社会的インパクトの可視化等を通じて、社会的価値と経済的リターンを両立するビジネスモデルの構築を目指します。事業の初期段階でマネタイズ方法や持続可能なビジネスモデルに課題を抱える企業に適しています。 一方で、インパクトスケールコースは、社会的インパクトを適切に発信し、共感を得ることにより事業成長を実現する支援を行います。既に一定の収益モデルや顧客基盤を持つなど事業化初期フェーズを乗り越え、インパクトを活用したスケーリングを志向する中で課題を感じている企業に適しています。 詳しくはアクセラプログラムのページ上で、プログラムで得られる学び・支援、実施内容、対象企業条件、想定対象企業等をご確認ください。
4	アクセラレーションプログラム	応募	東京都含む行政や事業者が実施する事業に採択されていますが、本プログラムへのエントリーは可能でしょうか。	他事業に採択されていても、出席要件などの履行や十分なコミットメントが確保可能であれば応募は可能です。
5	アクセラレーションプログラム	支援	伴走支援はどのようなメンバーが関与するのでしょうか。また、採択者が伴走支援担当者・メンターを選ぶことは可能なのでしょうか。	インパクトデザインコースは株式会社taliki、インパクトスケールコースは株式会社taliki、株式会社UNERI、一般財団法人KIBOWのうち、いずれかの団体が伴走支援を担当します。審査内容等を踏まえ、支援のニーズと提供可能な専門性を考慮し、事務局と伴走支援担当3団体が伴走支援担当を決定します（ご希望は承れませんのでご了承ください）。なお、支援期間中は、担当以外の伴走支援者や、外部専門家であるメンターと連携し、必要に応じて一緒に支援を提供します。
6	アクセラレーションプログラム	支援	組織として複数メンバーでプログラムに参加することは可能でしょうか。	伴走支援や講義内容は継続性を持って受けていただくことを想定しているため、あくまでメイン担当者1名が主である必要がありますが、支援内容や必要性に応じて、適切なメンバーを柔軟に追加でご参加いただくことは可能です。